

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	明解 世界史A（帝国書院）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー十八訂版（帝国書院）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・歴史に学ぶために、歴史を学ぶことを常に意識する。
- ・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- ・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の世界と日本の在り方を考える。

2 学習の到達目標

大航海時代を背景にアジア世界とヨーロッパ世界が接触や交流・進出を深め世界が一体化に向かい始める状況を概略的に把握させる。また、近現代史以降一体化がさらに進んでゆく状況を、日本と関連づけながら歴史的に理解させ、あわせて人類の今後の課題について具体的に考察させる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用 of 技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する一個の人間としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート レポート 受講態度の観察	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	1 部 第3章 欧米の工業化とアジア諸国の動揺	一節：ヨーロッパとアメリカの諸革命 1、イギリスから独立するアメリカ		○		○	b：啓蒙思想を盛り込んだ独立宣言や合衆国憲法の意義を多面的に考察し、文章にまとめる。 d：アメリカ独立革命の意義を、フランス革命とも結びつけ、理解している。	定期考査 ワークシート レポート
		2、ヨーロッパ近代化の出発点 フランス革命 3、ナポレオンの支配からウィーン体制へ 4、フランス革命と社会生活の変化	○	○		○	a：フランス革命の背景・展開、続くナポレオン時代の状況に関心を高めている。 b：フランス革命を、啓蒙思想を背景にもつ近代革命の1つと理解し、革命の展開の中で性格を変化させてゆく状況を考察して、文章にまとめる。 d：フランス革命の意義を、以後の世界史の展開と関連づけて理解している。	定期考査 ワークシート レポート
		5、大西洋を越えて広がる革命の波		○	○	○	b：ラテンアメリカの独立や、その後の展開について、また合衆国の再編や経済的發展について考察し、文章にまとめる。 c：アメリカ大陸の地図や大陸横断鉄道に関する資料などを、適切に活用している。 d：19世紀における南北アメリカ大陸再編の動きを、ヨーロッパ社会と関連づけて多面的に理解している。	定期考査 ワークシート レポート
		6 産業革命という大変革の開始 7、資本主義の発展と社会主義運動の発生	○	○		○	a：産業革命の展開、その影響や社会の変化などについて、意欲的に学習しようとする。 b：産業革命勃興に必要な条件や、産業革命の内容、影響について多面的に考察し、文章にまとめる。 d：産業革命の展開や、歴史に与えた影響について、イギリスを例に具体的に理解している	定期考査 ワークシート レポート

	<p>2 節：自由主義・ナショナリズムの進展</p> <p>1、1848 年 —19 世紀の転換点</p> <p>2、世界の工場イギリス</p> <p>3、フランス第二帝政とイタリア・ドイツの統一</p> <p>4、ロシアの改革と東方問題</p> <p>5、南北戦争と戦後の発展</p> <p>6、科学の世紀 —19 世紀の文化と第 2 次産業革命</p>	○	○	○	○	<p>a: 正統主義やイギリスの台頭、それに対処するために展開された動きがさまざまな形で現れたことに関心を高めている。1848 年のウィーン体制崩壊後のヨーロッパ社会の再編について、意欲的に学習しようとする。</p> <p>b: ブルジョワの成長やナショナリズム・自由主義の台頭などについて考察し、その影響を判断している。19 世紀後半には産業社会が完成を見て、国民としての統合が進んだ時代であったことを考察し、文章にまとめる。</p> <p>c: ロマン主義の資料を収集し、適切に活用している。</p> <p>産業社会の拡大や国民国家の確立などの資料を、適切に活用している。</p> <p>d: 正統主義やイギリスの台頭の中で、自由主義やナショナリズムの展開、ロマン主義などの動きが現れたことを理解している。19 世紀後半のヨーロッパ社会の特徴を、国ごとの違いに着目しながら多面的に理解している。</p>	定期考査 ワークシート レポート
--	--	---	---	---	---	---	------------------------

2 学期		<p>4 節：東アジアの大変動</p> <p>1、中国と日本の開国</p> <p>2、アジアにおける工業化と日清戦争</p> <p>3、東アジアをめぐる国際関係</p> <p>4、孫文が導いた辛亥革命</p>	○	○		○	<p>a：列強諸国の中国進出の状況や中国国内の動きを、意欲的に学習している。日本の開国とその後の歴史の展開、中国の朝貢関係の解体の状況について意欲的に学習している。</p> <p>b：列強諸国の進出を背景に戦争が勃発する中、民衆蜂起も起こるなど清朝支配の動揺について考察し、文章にまとめる。開国後の日本の政策を、富国強兵策と関連づけるとともに、中国の朝貢関係の解体を、列強諸国の進出と関連づけて判断し、文章にまとめる。</p> <p>d：列強進出と、東アジアの状況、中国の改革運動などを多面的に理解している。幕末から開国期の日本の対内・対外政策や、東アジアの朝貢関係の解体について多面的に理解している。</p>	定期考查 ワークシート レポート
		<p>3、ムガル帝国の崩壊とインド大反乱</p> <p>4、東南アジアの植民地化</p>		○	○	○	<p>b：ヨーロッパ諸国の進出の背景や、植民地をめぐる対立や衝突も考察し、文章にまとめる。</p> <p>c：ヨーロッパ諸国のインド・東南アジア進出に関する資料を適切に活用している。</p> <p>d：ヨーロッパ諸国の進出とインド、東南アジアの従属化の状況を多面的に理解している。</p>	定期考查 ワークシート レポート
	2 部 第1章 世界大戦	<p>1 節：現在につながる社会の形成</p> <p>1、大衆社会の出現</p>	○		○		<p>a：現在につながる社会の特徴について、意欲的に学習している。</p> <p>c：高度資本主義と大衆社会の具体的な展開に関する資料を収集し、適切に活用している。</p>	定期考查 ワークシート レポート

		2、世界の分割を進めた帝国主義 3、世界の一体化と人口移動	○	○	○	○	<p>a: 帝国主義時代の特色について関心を高め、その矛盾について意欲的に学習している。世界の植民地化について関心を高め、意欲的に学習している。</p> <p>b: 帝国主義時代の特色と社会的矛盾について多角的に考察し、客観的に判断している。植民地の抵抗運動について多角的に考察し、文章にまとめる。世界の一体化の一側面として、人口が移動した背景について考察し、文章にまとめる。</p> <p>c: 植民地の抵抗運動に関する資料を収集し、適切に活用している。人口の移動に関する資料を適切に活用している。</p> <p>d: 帝国主義時代の欧米諸国の動向やその社会的特色を理解している。植民地化と植民地の抵抗について理解し、知識を身につけている。人口の移動がどのように行われ、どのような影響があったかを理解している。</p>	定期考査 ワークシート レポート
3 学期		2節: 第一次世界大戦がもたらしたもの 1、ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 2、総力戦となった第一次世界大戦 3、ロシア革命と民族の問題	○	○		○	<p>a: 第一次世界大戦が人類社会に未曾有の犠牲をもたらしたことに関心を高め、その原因と現状について意欲的に学習している。</p> <p>b: 第一次世界大戦とロシア革命の展開について多面的に考察し、文章にまとめる。</p> <p>d: 第一次世界大戦とロシア革命の推移やその影響について理解し、知識を身につけている。</p>	定期考査 ワークシート レポート
		4、ウィルソンとヴェルサイユ体制 5、第一次世界大戦後の列強		○	○	○	<p>b: ヴェルサイユ体制の問題点について考察し、文章にまとめる。</p> <p>c: ヴェルサイユ体制に関する地図等の資料を適切に活用している。</p> <p>d: 第一次世界大戦後の欧米社会の危機と安定について理解し、知識を身につけている。</p>	定期考査 ワークシート レポート

		3 節：民族自決を求めて 1、中東・インドの民族運動 2、東アジアの民族運動 三・一独立運動と五・四運動	○	○	○	○	a：戦間期におけるアジアの人々が、解放へ寄せた期待と、その後の絶望に関心を高めている。 b：アジア諸地域の民族運動がなぜ高揚したか考察し、その特色について判断し、文章にまとめる。 c：アジアの民族運動に関する資料を収集し、適切に活用している。 d：アジアの民族運動が大衆運動として発展していったことを理解している。	定期考査 ワークシート レポート
		4 節：経済危機から第二次世界大戦へ 1、世界恐慌とローズヴェルト 2、ファシズムの台頭 ムッソリーニとヒトラー 3、経済不況から日中戦争へ	○	○		○	a：ファシズムの背景や特色について意欲的に学習している。 b：世界恐慌とファシズムについて考察し、文章にまとめる d：世界恐慌とファシズムの関連と、それぞれの展開を理解している。	定期考査 ワークシート レポート
		4、ヒトラーの要求と第二次世界大戦 5、被害の拡大と戦争の終わり	○	○	○	○	a：第二次世界大戦に主体的な関心を高め、意欲的に学習している。 b：第二次世界大戦の展開と意義を考察し、文章にまとめる。 c：第二次世界大戦に関する資料を収集し、適切に活用している。 d：第二次世界大戦の背景や展開について知識を身につけ、その影響や意義について理解している。	定期考査 ワークシート レポート

	<p>2部</p> <p>第2章</p> <p>冷戦から地球社会へ</p>	<p>1節：冷たい戦争の時代</p> <p>1、新たな対立と協調の模索</p> <p>2、対立する二つの陣営</p> <p>3、アジアの独立と経済発展への道</p> <p>4、第三勢力の形成と南北問題</p> <p>5、中東戦争とイスラーム復興</p> <p>6、アメリカ・ソ連の緊張と緩和</p> <p>2節：冷戦終結への道のり</p> <p>1、ゆらぐアメリカと先進各国の変化</p> <p>2、経済発展に取り組むアジア諸国</p> <p>3、冷戦の終結と変わる世界構造</p>	○	○	○	○	<p>a：戦後世界の画期となった動きや事件に興味・関心をもてる。</p> <p>b：戦後世界における資本主義陣営と社会主義陣営、第三勢力それぞれの動向を考察し、表現できる。</p> <p>c：戦後世界の画期となった動きや事件について、各種資料を用いて因果関係を指摘できる。</p> <p>d：戦後世界の画期となった動きや事件について理解している。</p>	<p>定期考査</p> <p>ワークシート</p> <p>レポート</p>
--	---------------------------------------	---	---	---	---	---	---	---------------------------------------

		3 節：地球社会への歩み	○		○	○	a：地域紛争や新しい形の紛争(テロ)、地域統合の進展、新興国の勃興、地球環境問題などに関心を持ち、追究している。 c：新聞の国際面などに報道されているできごとの背景を、教科書の説明を参考にしつつ指摘できる。 d：冷戦後も世界には解決すべきさまざまな問題がある一方で、ヨーロッパやアジアなどでは新たな地域協力の形が模索されていることを理解している。	定期考査 ワークシート レポート
		1、グローバル化する社会と経済						
		2、超大国アメリカと中東情勢						
		3、日本を取り巻くアジアの動き						
		4、地球的課題と解決への努力						

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。